

平成11年度第2回定期研究会 議事録

日 時：平成11年6月22日（火）15：00～17：30

場 所：創建

出席者：安藤（瀧上） 河尻（NKK） 岡本（パシコン） 佐賀（IHI） 小塩（名大）
貝沼（名大） 加藤（中日本コンサル） 近藤（名城大） 小澤（建技研） 柴田（大日コンサル）
柴山（松尾橋梁） 古一（東洋技研） 玉腰（東洋技研） 舘（日本橋梁） 播金（トピー工業）
林（構造計画研） 森川（篠田） 山田（名大） 以上19名

1. 議事録の確認

前回の議事録を確認し、承認された。

2. 幹事会報告

（1）定期研究会の講師推薦

新たに4名の推薦があった。

（2）平成11年度の活動について

1）次回研究会の開催

次回の研究会を8月9日から9月17日に変更する。

2）特別講演の開催

特別講演会を12月14日（予定）に開催する。講演会の内容については今後幹事にて調整する。

3）東海構造研究グループのインターネット情報公開

グループ内での活動を広く世間に広めるため、インターネット上にホームページを解説する必要がある。運営を進めるにあたっては、数名の会員による検討グループ（代表 葛西昭）を設置し、検討を進めていく。サーバは一般のプロバイダに委任する予定である。

3. 講演

（1）「合成アーチ巻立て工法によるコンクリートアーチ橋の設計・施工」(ピー・エス 大浦隆氏)

コンクリート充填鋼管を使用した合成アーチ巻立て工法によるコンクリートアーチ橋の設計・施工について講演された。事例として下田原大橋の設計・施工が紹介された。工法の選定においては、ピロン工法、トラス工法との比較で、経済性・工期面で有利となったとの説明がなされた。

（2）「景観設計の意義と役割を考える」(インテグラル 福井幸夫氏)

景観設計を行うことは、道路や橋梁構造物を美しく造ることだけでなく、地域を創ることに他ならない。景観設計は地域の風土も形作るきわめて重要な事業・業務である。講演においては、景観設計の基本事項の説明がなされ、「景観選定のだれでもわかるシステム創り」の必要性が述べられた。

4. 定期研究会担当幹事

名簿：鈴木森晶（愛工大）

議事録：岡本利朗（パシフィックコンサル） 小澤優二（建設技術研究所）

会計：葛西昭（名大）

懇親会：加藤雅彦（長大） 加藤幸男（中日本コンサル）

5. その他

1)「第3回鋼構造物の非線型数値解析と耐震設計への応用に関するシンポジウム」の案内を行った。

2)名城大学理工談話会「中部国際空港の建設計画と今後の課題」の案内を行った。